

I 第15週の発生動向 (2013/4/8~2013/4/14)

1. インフルエンザについては、患者報告数が前週 152 人から 107 人に減少しました。(詳細については、V 県内インフルエンザ情報をご覧ください)
2. 感染性胃腸炎については、県全体の患者報告数が、第2週以降定点あたり 4.5~5.9 人で推移しています。

II 第15週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	10	0.8	29	1.9	35	2.5	15	2.1	8	0.9	10	1.7	107	1.7	-45	1	1.0	9	0.8
小児科 (74) RSウイルス感染症	1	0.1			1	0.1	1	0.2					3	0.1	-3			1	0.1
(75) 咽頭結膜熱	3	0.4	1	0.1									4	0.1	0			3	0.4
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.6	16	1.8	16	1.8	1	0.2	12	2.0	5	1.3	55	1.3	11			5	0.6
(77) 感染性胃腸炎	53	6.6	43	4.8	21	2.3	19	3.8	54	9.0	28	7.0	218	5.3	18			53	6.6
(78) 水痘	3	0.4	1	0.1	1	0.1	1	0.2	6	1.0			12	0.3	-12			3	0.4
(79) 手足口病															-1				
(80) 伝染性紅斑	4	0.5											4	0.1	3			4	0.5
(81) 突発性発疹	3	0.4	4	0.4	1	0.1			9	1.5	2	0.5	19	0.5	-6			3	0.4
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ															-1				
(84) 流行性耳下腺炎			2	0.2			1	0.2					3	0.1	-6				
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	3	1.5			4	2.0			1	0.5			8	0.7	0			3	1.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	3	3.0					3	3.0	7	1.2	1				
(96) 無菌性髄膜炎															-1				

は警報 は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前1人、八戸2人、五所川原4人、上十三1人 (2013年計:85人)
- (16) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 上十三2人 (2013年計:15人)

IV 病原体検出情報

※ () 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者2名(咽頭ぬぐい液、鼻汁、2/25~3/8)・・・HHV7: 八戸(1)、ライノウイルス(HRV): 八戸(1)
- ・下気道炎患者7名(咽頭ぬぐい液、鼻汁、1/7~3/6)・・・RSウイルス: 弘前(3)、HRV: 八戸(2)、RSウイルス及びHRV: 弘前(1)、八戸(1)
- ・インフルエンザ患者2名(鼻汁、1/28~2/16)・・・インフルエンザウイルスAH3亜型: 八戸(2)
- ・突発性発疹患者1名(鼻汁、2/9)・・・HHV6: 弘前(1)
- ・感染性胃腸炎患者1名(糞便、2/23)・・・アデノウイルス2型: 弘前(1)

感染症の窓

インフルエンザウイルス

インフルエンザは、周期的に流行するため、星や寒気の影響(インフルエンシ)によるものと考えられたのが語源と言われています。例年ヒトで流行するインフルエンザは、A、B型ウイルスによるものが主です。

A型には抗原性が異なる亜型が、ヒトではH1~3、N1~2の組合せで存在します。A型は、突然、別の亜型ウイルスが出現して、従来の亜型にとって代わることにより、数年から数十年ごとに世界的に流行します。これを不連続性抗原変異と呼びます。過去の流行型は、1918年のスペインかぜ(H1N1)、1957年のアジアかぜ(H2N2)、1968年の香港型(H3N2)、1977年のソ連型(H1N1)、2009年の亜型(H1N1)pdm09です。

一方、毎年のように流行を繰り返すのは、同一の亜型内でも、抗原性が少しずつ変化する連続抗原変異が頻繁に起こるためです。これに対応するため、その年に流行する可能性のあるウイルスを選別してワクチンが作成されます。予防には毎年のワクチン接種が重要です。(参考 IDWR 「感染症の話」)

現在世界中で流行しているのはA型H3N2、H1N1とB型の3種類です。2012/13インフルエンザシーズンの国内の流行は、AH3亜型が主流で、全国の地方衛生研究所での検出数の85%を占め、B型は13%、AH1pdm09亜型が2%でした。(IDWR 第13週報)

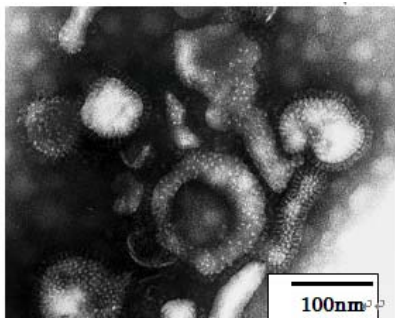


図 インフルエンザウイルス (青森県環境保健センター)

V 県内インフルエンザ情報

第15週の患者報告数は、107人で、迅速診断キットによる型別はA型88人、B型18人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数

(人)

週	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
東地方	18	15	22	14	12	5	3			1	1	1	1
弘前	111	273	369	272	155	126	83	77	55	32	18	25	29
八戸	256	401	451	318	227	155	117	95	57	60	43	26	35
五所川原	67	162	192	208	117	87	62	64	36	33	16	27	15
上十三	304	530	565	372	180	87	51	32	55	39	23	17	8
むつ	234	375	263	206	96	86	68	42	71	52	17	18	10
青森市	166	227	300	287	165	96	136	143	98	120	55	38	9
合計	1156	1983	2162	1677	952	642	520	453	372	337	173	152	107

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
東地方	18	15	22	14	12	5	3			1	1	1	1
弘前	111	273	367	272	153	123	83	77	55	32	17	24	22
八戸	254	373	429	302	221	142	114	87	52	55	35	22	29
五所川原	67	162	192	208	117	87	62	64	35	33	16	27	15
上十三	282	502	548	359	170	87	50	31	52	36	21	17	6
むつ	234	375	263	206	96	86	68	42	71	52	16	17	9
青森市	157	211	283	254	157	81	118	133	84	116	48	35	6
合計	1123	1911	2104	1615	926	611	498	434	349	325	154	143	88

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
東地方													
弘前			1		2	3					1	1	7
八戸		1		1				3	5	5	7	4	5
五所川原									1				
上十三		3	1						2	1	2		2
むつ											1	1	1
青森市	2	8	7	24	6	13	5	8	9	2	5	2	3
合計	2	12	9	25	8	16	5	11	17	8	16	8	18

年齢区分別

週	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
～5ヶ月	4	12	8	11	2	4	1	1	2				
～11ヶ月	13	16	26	27	14	9	9	11	6	5	1		
1歳	36	66	71	74	65	35	34	19	19	17	7	9	3
2歳	51	76	65	59	47	25	25	18	26	20	6	9	8
3歳	41	69	82	76	57	34	22	20	19	15	6	6	5
4歳	45	84	98	114	43	20	27	31	34	25	15	7	12
5歳	45	89	95	79	27	24	43	24	34	23	6	3	5
6歳	40	71	98	59	34	35	22	39	21	18	9	8	3
7歳	31	77	71	50	38	34	10	18	19	18	8	5	6
8歳	27	54	75	47	42	27	24	14	23	16	7	8	3
9歳	36	84	66	58	25	15	13	22	12	8	5	4	1
10～14歳	183	441	371	249	96	80	93	52	27	44	23	6	10
15～19歳	60	144	163	102	44	32	21	17	12	6	4	1	7
20～29歳	97	94	134	94	56	41	21	23	16	12	11	11	10
30～39歳	116	162	212	125	87	56	45	34	23	28	14	11	2
40～49歳	83	132	155	124	70	41	25	27	20	23	15	18	11
50～59歳	92	121	140	114	64	36	24	34	19	14	12	10	5
60～69歳	69	85	101	85	55	39	29	23	13	19	11	8	4
70～79歳	43	62	61	59	43	30	16	10	9	12	4	9	7
80歳以上	44	44	70	71	43	25	16	16	18	14	9	19	5

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2012年第50週~2013年第14週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
50	H24.12.10 ~ H24.12.16		梅毒1人				
51	H24.12.17 ~ H24.12.23		梅毒1人				
52	H24.12.24 ~ H24.12.30						
1	H24.12.31 ~ H25.1.6						
2	H25.1.7 ~ H25.1.13						
3	H25.1.14 ~ H25.1.20			腸管出血性大腸菌感染症1人			
4	H25.1.21 ~ H25.1.27		腸管出血性大腸菌感染症1人 風しん1人				
5	H25.1.28 ~ H25.2.3						
6	H25.2.4 ~ H25.2.10	腸管出血性大腸菌感染症1人					
7	H25.2.11 ~ H25.2.17						
8	H25.2.18 ~ H25.2.24						
9	H25.2.25 ~ H25.3.3						
10	H25.3.4 ~ H25.3.10				レジオネラ症 1人		E型肝炎 1人
11	H25.3.11 ~ H25.3.17	風しん 1人					
12	H25.3.18 ~ H25.3.24		腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人		
13	H25.3.25 ~ H25.3.31		腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
14	H25.4.1 ~ H25.4.7	腸管出血性大腸菌感染症1人				腸管出血性大腸菌感染症1人	風しん1人

VII 結核(二類全数把握疾患)

2012年第50週~2013年第14週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
50	H24.12.10 ~ H24.12.16	1					1
51	H24.12.17 ~ H24.12.23	3		1		1	
52	H24.12.24 ~ H24.12.30		1	1			
1	H24.12.31 ~ H25.1.6			2			
2	H25.1.7 ~ H25.1.13		3	3	1	1	
3	H25.1.14 ~ H25.1.20	3	2	3	1		
4	H25.1.21 ~ H25.1.27	2	3	3		2	1
5	H25.1.28 ~ H25.2.3		1	1			
6	H25.2.4 ~ H25.2.10	1	3	1		1	
7	H25.2.11 ~ H25.2.17	1	2	1	1	1	
8	H25.2.18 ~ H25.2.24		1	2	1	1	
9	H25.2.25 ~ H25.3.3		3				
10	H25.3.4 ~ H25.3.10		1		1		
11	H25.3.11 ~ H25.3.17		2		1		
12	H25.3.18 ~ H25.3.24	1	2		1		
13	H25.3.25 ~ H25.3.31	1	8	2			
14	H25.4.1 ~ H25.4.7	2	1			1	

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

(2013年第1週からの累計)

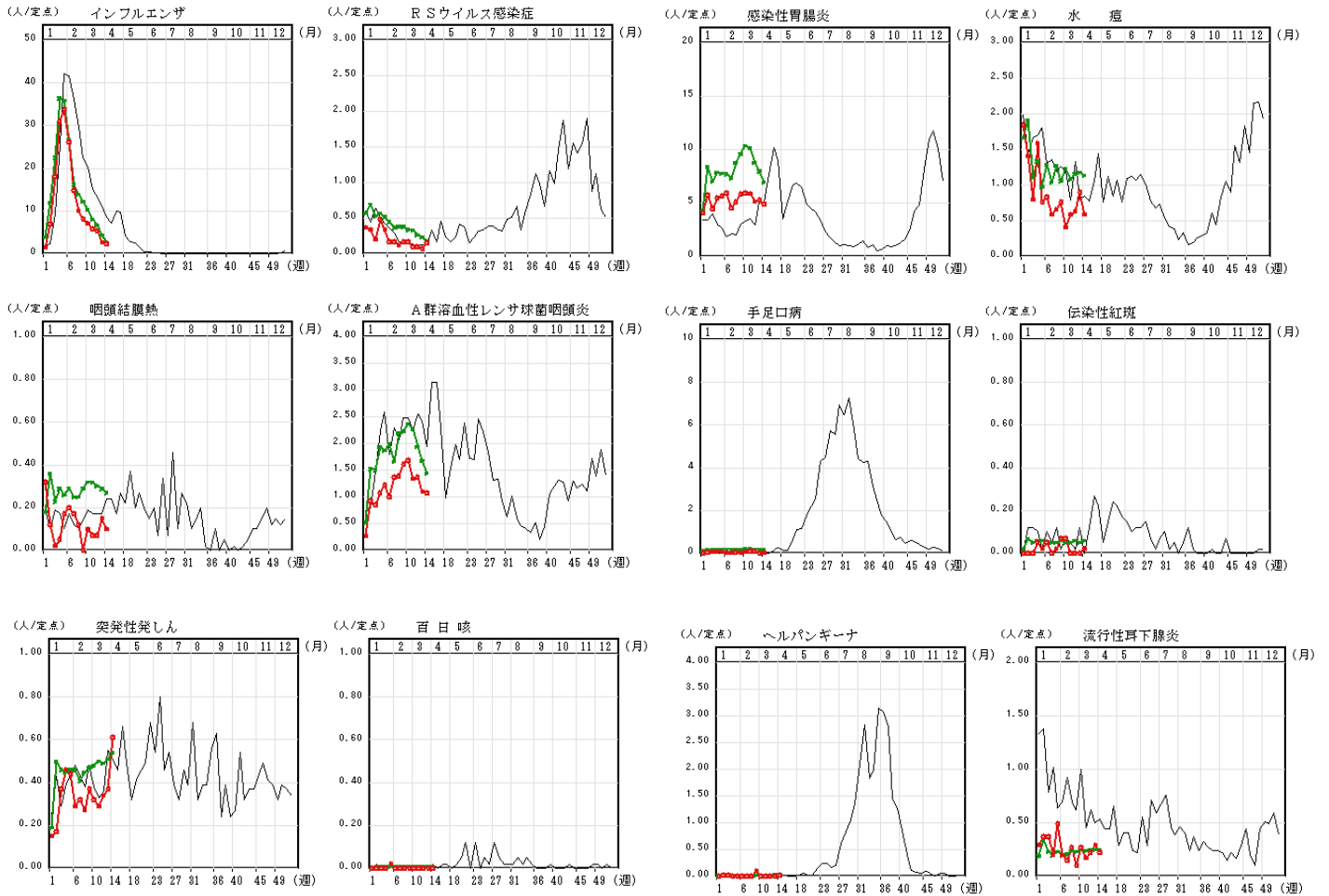
2013年4月15日 18時00分集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクシス症	オウム病	コクシジオイトシス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症
全国	6425	34	180	18	17	41	45	5	3	2	5	5	33	40	1	1	14	1	2	191
青森県	85	0	14	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クロイツフェルト-ヤコブ病	副症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎菌性髄膜炎			
全国	1	252	58	128	41	58	344	15	1	25	3	262	20	22	3789	97	2			
青森県	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0			

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

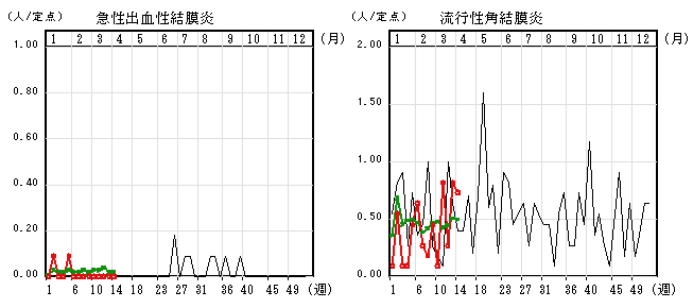
2013年第14週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第14週



XI 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第14週

